

宮崎県物産貿易振興センター NEWS

Miyazaki Prefecture Products Trade Promotion Center News Paper

Vol.35

新年を迎え、みやざき物産館は「みやざき物産館 K O N N E」と名称を変更してスタートしました。

1月2日の初商は、橋太鼓「響座」の皆さんの勇壮な太鼓演奏で幕を開け、味のくらやさんの餅菓子の振る舞い、椎葉村地場産品開発さんのぜんざいの振る舞い、宮崎県シンボルキャラクター「みやざき犬」の登場、福袋の販売など、盛りだくさんの催しでお客様を迎えました。

天気にも恵まれ、たくさんのお客様にお越しいただき「みやざき物産館 K O N N E」の初商を行うことができました。

(企画課 松吉)



▼ 本格焼酎 原酒フェア

1月16日～2月1日まで本格焼酎「原酒フェア」を開催しました。約290種類ある本格焼酎のうちアルコール36度以上の銘柄17社54銘柄(うち、原酒37銘柄)をイベントコーナーに集め、PR及び販売を行いました。

お客様の間心も高く、商品をじっくり見ていただけたように感じます。売上も昨年の約2.3倍となりました。

また、2月15日からは「ひな祭りフェア」といたしまして、綾のひな山の展示やひな祭りにちなんだ商品を正面入口展示コーナーに集めました。春を感じさせる華やかな店内となり、お客様にも大変好評をいただいております。

(営業課 濱田)

▼ 工芸品特別展示コーナー

平成24年1月から、みやざき物産館 K O N N Eの工芸コーナーに、県内の工芸品等を展示する特別展示コーナーを設置しました。これは、観光客や県民の皆様など多くのみやざき物産館 K O N N Eを訪れる方々に、宮崎の誇る工芸品を紹介することにより県内の工芸品の振興を図ることを目的としています。

第1弾は、綾町の熊須基盤店さんによる「熊須親子展を開催しました。県伝統工芸士の熊須健一さんの基盤の脚の制作風景はめったに見られるものではなく、物産館を訪れた多くの観光客から注目を集めていました。

第2弾は、国富町の「立山周平展」を開催しました。「桜」をテーマとした華やかな作品の数々が勢揃いしました。

第3弾は、綾町のグラフィートさんによる「現代の名工 黒木国昭展」を開催しました。

黒木国昭氏の、煌びやかで迫力のある作品は日本の伝統美をガラスで鮮やかに表現していました。現在は、第4弾としてみやざきの匠である北原優子さんによる「人形工房みち展」を開催しております。

今回はひなまつりの時期に合わせた大人も楽しめる本格的なおしゃれな雛人形もご用意しました。

尚、特別展示コーナーについては企画課の相川までお問い合わせください。(企画課 相川)



-1-

平成 24 年 3 月 6 日発行

宮崎県物産貿易振興センター NEWS

新宿みやざき館 K O N N E 通信



新 宿みやざき館の12月と1月は、引き続き来店客数の減少に苦戦しました。しかし、購買意欲は

縮んでいないようです。

さて、このところの天候不順は東京でも同様で営業にとっては厳しい環境だったといえます。1月の晴れが13日間(前年28日間)気温も最高気温が10℃を超える日がわずか3日間(前年13日間)でした。1月の営業はこの影響を大きく受けました。



他方、12月では営業進行の改善によるタイムリーな商材提供を実現した結果35,720千円の売上を実現させました。歳暮ギフト、クリスマス、そして年末年始の需要に対応したこと、さらに冬季商材の展開や日向夏の早期導入等、これらを計画的に実施することができました。

また、店内では白玄堂、タカラ緑健、えびの市そして竹炭の里と4件の出展があり充実した営業月でした。今後の課題はそのトレンドを観察して結果を検証しフィードバックすることだと考えています。



第14回 宮崎県産品まつり

— 宮崎山形屋 —

県内で生産される食品及び工芸品を一堂に集め、展示・即売を行い、優れた県産品の数々を紹介する「第14回宮崎県産品まつり」が、2月14日(火)～19日(日)までの6日間、宮崎山形屋で開催されました。

物産展初日と18日(土)には花の女王が来店し、来場者へ切り花や宮崎県産米の配布を行ったり、各出展企業・出品商品のPRなどを行いました。

また、会場内のイベントとして、宮崎山形屋の商品券やホテルのランチ券が当たる「お楽しみ抽選」を実施したり、1階のふれあいモールでは、女性農業加工グループや県立農大校生による農産品・加工品の販売、恒例の“宮崎お茶まつり”の開催など、盛りだくさんのイベントで物産展を盛り上げるのが出来ました。



今回の出展企業数は、食品48社、酒類2社、工芸5社の合わせて53社となりました。

また売上については、消費動向が向かない状況の中、天

候不良や寒さが厳しく風の強い日が続いたことが重なり、売上目標23,000千円に対して18,782千円(対前年比82.2%)と大きく割り込む結果となりました。

今後、センターとしては、会員企業の皆様や百貨店と連携して、初春の会期に合わせた商品提供や、お客様の求める商品情報等を共有しながら、売り上げ向上、更なる販路拡大につながるよう取り組んでまいります。

出展企業の皆様、会場となりました宮崎山形屋の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(営業課 鬼束)



-3-

TOPICS

宮崎県のシンボルキャラクター「みやざき犬」の活用企業の募集

宮崎の魅力を発信する新しいシンボルキャラクターとして「みやざき犬」が生まれました。

県では、テレビやイベント等の様々な機会に「みやざき犬」をPRし、宮崎のシンボルキャラクターとして全国レベルでの定着を図り、全国に向けて宮崎の魅力を発信していきます。

このシンボルキャラクターである「みやざき犬」は、皆様が販売する商品(印刷物やグッズ)等に使用することができます。

是非、「みやざき犬」を様々な場面等で御活用ください。

なお、使用に当たっては、商標登録の関係上、必ず事前に県の許可が必要ですので、県の担当課まで直接、御相談ください。

(使用例)

- 商品に「みやざき犬」のシールを貼る。
- 商品パッケージに「みやざき犬」をイラストする。
- 「みやざき犬」のぬいぐるみ、シール、クリアファイル、キーホルダー、携帯ストラップ、文具(ボールペン、メモ帳等)等を製作する。
- 宣伝広告に「みやざき犬」を登場させる。
- イベントで「みやざき犬」のパネルやのぼりを設置する。
- 営業車両に「みやざき犬」をイラストする。
- その他、使用したい案がありましたら、事前に御相談ください。

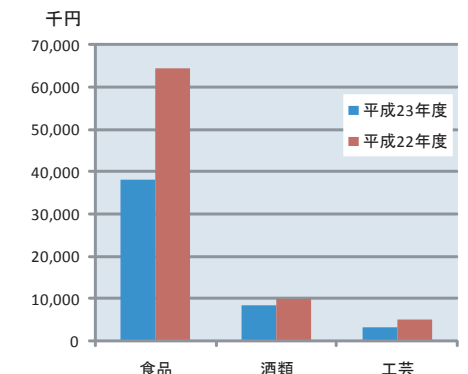
＜問合せ先＞
宮崎県商工観光労働部観光交流推進局 みやざきアピール課
電話：0985-26-7591 FAX：0985-26-7327

みやざき物産館 K O N N E の平成23年12月～平成24年1月にかけての売上は、対前年比62%となりました。食品は前年、口蹄疫支援のために大口注文があった畜産の落ち込みが厳しく、前年度の約半分でしたが、酒類は1月の売上が昨年とほぼ同売上となり原酒、フエアなどのインスタプロモーションの効果が現れた結果となりました。

お客様に商品を色々な角度で見たいいただき、ご紹介することでアンテナショップとしての役割を果たしていきたいと思います。

(営業課 濱田)

みやざき物産館の12・1月の売上比較



毎度ありがとうございます！

センター職員紹介

前職を辞めた後、何か宮崎に関わる仕事がしたいと思っていたところ、偶然「新宿みやざき館」オープンを知り、以来14年お世話になっています。

総務担当ながら、黙ってられない性格からあちこちに口を出し、周囲の人には、五月蠅がられていると思いますが、これも「故郷宮崎を思えばこそ！」です。

これからも、宮崎と首都圏の距離を縮められるよう努力したいと思いますので、よろしく願いいたします。

営業課 久米田 康仁

新宿みやざき館 K O N N E 日高由美子

昨年の10月から、みやざき物産館 K O N N E で勤務させていただいています。オンライン業務を主に担当しておりますが、お客様からの問い合わせ対応や、店舗の販売補助などを行っております。

お客様と直接お話しする機会は少ないですが、オンラインやお電話のお客様との関わり合いを通して日々勉強させていただいております。

オンラインではツイッターなどの情報ツールをもっとうまく使いこなし、県内外のお客様に宮崎の商品をPRしていきたいと考えています。

(上司からのコメント)

女性の多い営業課の中でも何の違和感もなく、仕事に励んでいます。パソコンや電話の対応もてきぱきとこなし、心強い限りです。

今後は、店舗での対応も頑張ってもらいたいと思います。

(牧 寿)

(上司からのコメント)

責任感の強さ、課題を的確に指摘する視点、そしてメンバーから慕われる包容力の大きさは、正に K O N N E の大黒柱です。

少しでも宮崎の価値が上がるように、これからも一緒に頑張りたいと思います。

(高 林)

会員の皆様からのコラム・ご意見等を募集しています！

会員の皆様からの物産貿易振興センターに対するご意見や、商品開発、貿易等につながるエピソードなどをお待ちしております。体裁は自由です。FAX、郵便またはメールでどうぞ。

発行 社団法人 宮崎県物産貿易振興センター
〒880-0804 宮崎市宮田町1番6号 県庁8号館
TEL: 0985-22-7389 FAX: 0985-22-7497
URL: http://www.m-tokusan.or.jp/
E-Mail: info-00@m-tokusan.or.jp

-4-

宮崎県物産貿易振興センター NEWS

平成 24 年 3 月 6 日発行

東京インターナショナルギフトショーに参加

二十一年度から県と連携して工芸品商品力育成強化支援事業を実施していますが、今年度商品開発に取り組んだワークショッププロジェクトが、2月8日(水)から10日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて新商品を展示しました。

今年度は新たな試みで、宮崎の地で素材や独自の技術を活かした工芸品を作り続けてきた4人の工芸家が、「やさしさ」をテーマにこれまでの枠を越え、ワークショップを通して自分たちの考える「やさしさ」を工芸品という形で表現することに取り組みしました。

ワークショップメンバーの



▲ 新商品の展示

黒木クラフト工房さん、城工房さん、陶工房彩さん、陶スタジオさん、黒を基調としたシンプルなディスプレイにアクセントとして宮崎のマンガや南国らしさをイメージさせる「オレンジ」をあしらいました。

今回は別のエリアで、谷川アドバイザーから、商品づくりのほか、商品の陳列方法など細かなところまでご指導いただきました。また、併せて日本クラフト協会の御協力もいただきました。

また、今回は別のエリアで、谷川アドバイザーから、商品づくりのほか、商品の陳列方法など細かなところまでご指導いただきました。また、併せて日本クラフト協会の御協力もいただきました。



▲ 会場の様子



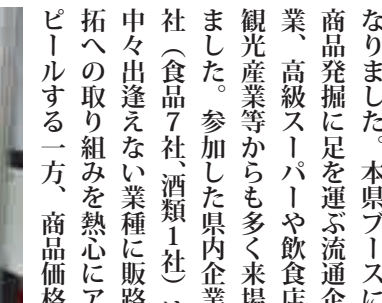
▲ 宮崎県のブース

去る2月1日(水)から3日(金)東京ビッグサイトで開催された「スーパーマーケット・トレードショー2012」に宮崎県ブースを出展しました。

主催者によると、出展者1,295社(海外13カ国含む)、来場者は、84,360人と最大規模となり来場目的意識を持った業界者、経営者も多く参加した展示商談会となりました。本県ブースには商品発掘に足を運ぶ流通企業、高級スーパーや飲食店や観光産業等からも多く来場しました。参加した県内企業8社(食品7社、酒類1社)は、中々出逢えない業種に販路開拓への取り組みを熱心にアピールする一方、商品価格の



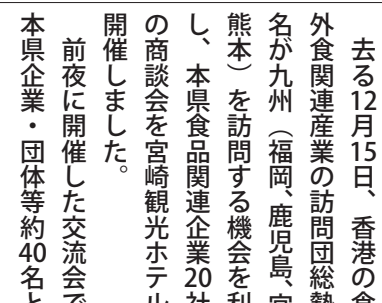
▲ 出品物への助言



▲ 香港訪問団

宮崎市のニューウェルシティでも、今回のプロジェクトメンバーによる商品力育成支援事業成果発表が予定されています。工芸会員のみなならず、多数ご出席ください。

(企画課 相川)



▲ 商談の様子



▲ 開会式

香港向け食品輸出商談会の開催報告

去る12月15日、香港の食品・外食関連産業の訪問団総勢22名が九州(福岡、鹿児島、宮崎)熊本を訪問する機会を利用し、本県食品関連企業20社との商談会を宮崎観光ホテルで開催しました。

前夜に開催した交流会では、本県企業・団体等約40名と交

設定や市場の動向(流行)等、バイヤーからも助言を得ていました。「出展するからには、何か得て帰りたい。自社の取り組みであることだから」と販路先の開拓も大事ですが、全国レベルの高い開拓意欲を持つ他県企業と接する機会から学ぶ場として、大規模展示会出展の意義はあるとの意見もありました。

(営業課 中川)

何かが得て帰りたい。自社の取り組みであることだから」と販路先の開拓も大事ですが、全国レベルの高い開拓意欲を持つ他県企業と接する機会から学ぶ場として、大規模展示会出展の意義はあるとの意見もありました。

(営業課 中川)

-2-